

新たな行政改革プランの策定について

1 これまでの行財政改革の取組

(1) 平成15年度～平成18年度（4年間）『行財政健全化緊急プログラム』

- ① 当面見込まれる財源不足額の解消
- ② 財政力に応じた持続可能な行財政システムの構築
- ③ 地域や民間の活力を生かした市民サービスのあり方の見直し
- ④ 広域連携の推進
- ⑤ まちづくり、地域の活性化等による収入の確保

(2) 平成19年度～平成21年度（3年間）『集中改革プラン』

- ① 公共施設及び事務事業の再編・整理等
- ② 民間委託・民営化等の推進
- ③ 組織・機構の見直し
- ④ 定員管理及び人事給与制度の適正化
- ⑤ 公営企業等の経営健全化
- ⑥ 行政経営システムの見直し
- ⑦ 市税等収入の確保
- ⑧ 受益者負担の適正化

(3) 平成22年度～平成26年度（5年間）『集中改革プランⅡ』

- ① 収支の均衡
- ② 行政運営の効率化
- ③ 市民協働の推進と簡素で効率的な行政組織の構築

いずれも歳出削減、
歳入増により収支
均衡を目指した
改革

歳入に地方交付税の占める割合が大きい本市では、国の施策により地方交付税が減額されても持続可能な財政基盤を確立しておかなければならない。

+

- ・ 市民ニーズの多様化、高度化への対応
- ・ 少子高齢化、人口減少、低成長経済などの社会構造等の変化への対応
- ・ 新たな行政需要への対応に必要な財源の確保



(4) 平成27年度～平成29年度（3年間）『行政品質改革プラン』

- ① 経営的視点に立った市民本位の行政運営の推進 ～市民が満足する質の高い行政を目指して～
- ② 職員力・組織力の向上 ～より成長する職員・組織～
- ③ 財政健全性の確保 ～持続可能な行政体であり続けるために～

行政課題を解決
するしくみの構築

現行プラン

2 現行プランの状況

概要については、以下のとおりです。

詳細については、別冊の「氷見市行政品質改革プラン（進捗状況）」を参照願います。

(1) 財政収支見通し…改善見込み

行政品質改革プラン（平成27年度～平成29年度）

3年間の収支見通し額	計画額	△697百万円	(H27(△350百万円)	、	H28(△384百万円)	、	H29(37百万円))
------------	-----	---------	---	--------------	---	--------------	---	------	--------	---

↓決算

↓見込み

↓予算

見込額	378百万円	(H27(580百万円)	、	H28(209百万円)	、	H29(△411百万円))
-----	--------	---	------	---------	---	------	---------	---	--------------	---

収支改善の内訳(1,075百万円)



歳入 2,168百万円増（地方交付税 980百万円増、市税 543百万円増、譲与税・交付金 410百万円増、その他収入 235百万円）

歳出 1,093百万円増（扶助費 1,080百万円増、物件費、維持補修費、補助費等 217百万円増、減債基金積立金 400百万円増、
特定目的基金積立金 350百万円、人件費 62百万円、公債費△406百万円、投資的経費△317百万円増、繰出金△293百万円）

(2) 数値目標の現状…概ね達成見込み

	目標	(H27)	(H28)
① 市税の現年度収納率(毎年度)	98.5%以上	99.0%	98.9%
② 財政指標等			
・ 経常収支比率(毎年度)	80%台前半	80.3%	84.8%(見込み)
・ 実質公債費比率(29年度(3ヵ年平均))	16%未満	12.1%	11.2%(見込み)
・ 将来負担比率(29年度)	100%未満	87.4%	84.1%(見込み)
・ 債務総額(29年度末：臨時財政対策債を除く。)	315億円以下	337億円	317億円(見込み)
・ 財政調整基金残高(29年度末)	20億円以上	26.8億円	28.1億円(見込み)
③ 職員数(平成30年4月1日現在の職員数)	393人程度	402人(H28.4.1)	394人(H29.4.1)

(3) 取組の状況…別冊の「氷見市行政品質改革プラン（進捗状況）」にて説明します。

3 新たな行政改革プラン策定の基本的な考え方（案）

新たな行政改革プランの策定にあたっては、現行プランから引き続き、**持続可能な財政基盤を確立**するとともに、「市民ニーズの多様化、高度化への対応」、「少子高齢化、人口減少、低成長経済などの社会構造等の変化への対応」、「新たな行政需要への対応に必要な財源の確保」のための行政課題を解決するしくみの構築を目指します。

そのため、**現行プランを検証**し、その結果を計画に反映するとともに、**新たな課題を解決する計画**とします。

(1) **市民満足の向上**を目指し、**経営的な視点**を取り入れた現行プラン(「量を重視した改革」から「質を重視した改革」へ)を引き継ぐ計画とする。

- ① 現行プランの検証（状況確認 ⇒ 取組項目の継続、見直し、新たな取組の整理）
- ② 行政の仕組みづくりの構築（既存の業務プロセスの見直しを含む。）
- ③ 必要な職員数（正規職員数の増員と構成及び職種）の確保
- ④ 働き方改革の推進
- ⑤ 組織体制の見直し
- ⑥ 「公民連携」等による業務量の縮減
- ⑦ 地域づくり協議会設立の推進

(2) **総合計画後期基本計画、地方創生総合戦略、公共施設等最適化実施計画**を行財政面から支える計画とする。
(H30～H33 年度) (H27～31 年度) (公共施設等最適化基本方針の期間は H28～57 年度で実施計画は H29 年度策定)

- ① 長期的（10 年程度）な財政収支見通し（人口減少、過疎化、高齢化及び地方財政計画の動向を考慮）
- ② 効果性及び資金運用面での重点事業の優先順位の整理
- ③ 地方創生総合戦略の推進（戦略期間の延長）

(3) 改革期間は、総合計画後期基本計画と同じく**平成 30 年度から平成 33 年度までの 4 年間**とする。

4 策定スケジュール（案）

	氷見市行政改革推進市民懇話会 日程	事務局等
8月	(上旬) 第1回 市民懇話会 ● 現行プラン実績・見込報告 ● 新プラン課題・方針検討	基本計画各課ヒアリング ↓
9月		◎基本計画（案）作成 ↓
10月	(中旬) 第2回 市民懇話会 ● 財政見通し・職員数説明 ● 提言書（基本計画）検討	○実施計画（案）作成 ↓
11月		↓
12月	(上旬) 第3回 市民懇話会 ● 提言書決定 ⇒ 答申	◎基本計画（案）確定 ↓
1月		【予算に反映】 ↓ ○実施計画（案）確定
2月		パブコメ ↓
3月	(上旬) 第4回 市民懇話会 ● 基本計画説明 ● 実施計画説明	公表